

**横浜市港南区地区センター  
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和3年8月3日（火） 10時45分から12時00分まで
開催場所	区役所 603 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	1名
議題	はじめに（横浜市永谷地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 株式会社有隣堂> ・地域の特性や地域ニーズを取り入れながら「地域力を育む憩いの場」として運営していく。 ・本部が全面的にバックアップし、各部門がそれぞれの役割に基づいてチェックとフォローを行う。 ・認知症サポーター研修を行い、正しい理解や対応方法を学ぶことで高齢化社会に対応する ・Webを活用して自主事業の申し込みや図書予約ができるようにして利用促進につなげていく。 ・書店としての強みを生かして収集した情報から、利用者の読書傾向を反映した図書コーナーを設置することや、図書の貸出し限度冊数を拡大して利用を促進する。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館せずに参加できるオンラインによる自主事業を開催する。  2 審議 第4期横浜市永谷地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、株式会社有隣堂を指定候補者として選定した。 <b>【委員意見】</b> ・これまで施設を管理してきたノウハウや実績を踏まえた提案に自信を感じた。今までの経験から施設運営の改善に期待ができる。地域とのつながりも良好で問題はない。 ・本部と地区センターの連絡体制や本部による内部監査などのバックアップがよく構築されていた印象だった。 ・年代別に対応した事業が計画されており、周辺の状態を考慮した運営に期待できる。 ・フリーWi-Fiの導入やデジタルサイネージの設置などが進んでおり、利用者にとって利便性が高いものを中心にIT化がある程度進んでいる一方で、オンラインで行う自主事業について具体的な計画が無かったところに課題を感じた。また、高齢者が不利になってしまうのではないかと疑問が残った。 ・新規利用者の開拓について意欲はみられるものの、具体策があまり見られなかった。
審議結果	・株式会社有隣堂を横浜市永谷地区センター指定管理者の指定候補者とする（593点/825点）。

特記事項	特になし
------	------